

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を職員が意識して介護にあたっているが、まだまだ配慮に欠ける場面もある。利用者の前で排泄などの情報交換がされていることは、改善すべき課題である。	プライバシーの確保について職員間で話し合いをして、再認識するとともに、利用者の前で職員同士の私語はやめ、共有すべき情報の伝達方法を検討する。	排泄誘導時の声掛けや、排泄時にバスタオルをかけるなどの配慮をし、なれ合いで見過ごしているケアを見直し、利用者の羞恥心に理解を深め、思いやりと配慮のある介護を実践する。	3ヶ月
2	49	季節に合わせ、個々の体調に合わせて個別で外出できるようにしているが、まだまだ利用者やご家族のご希望には添えていない。	気分転換をはかり、生活のメリハリをつけるために『ちょっと散歩しよう』『ちょっと出かけよう』の機会を増やしていく。	生活リズムをつけるために、短時間の日光浴や、花壇の水やり、朝食やおやつのお買い出しに近くのコンビニへ出かけたり、気持ちの良い外気に触れて散歩に出かけたりする。	3ヶ月
3	35	海の前の施設という事で、災害対策には職員が意識をもっているが不安なことも多いのが現状である。地震や津波、水害の災害時に利用者と共に安全に避難できるよう対策計画を立てる事が課題である。	災害時に職員間だけの誘導には限界があるので、日頃から地域住民と連携を図り共に協力を得られる工夫をして行く。	地域サロンを避難場所として開放し、多目的に利用してもらい日頃からの交流を図る。運営推進会議で災害対策計画の検討をし、自治会の防災訓練にも利用者と一緒に参加する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。